

公益財団法人書壇院

平成 28 年度事業報告

I	公益事業 1 書道に関する普及啓蒙活動事業	
1	収蔵品の調査研究と貸出・公開	1 頁
2	講演会・ギャラリートーク	2 頁
3	展覧会	2 頁
II	公益事業 2 書道に関する支援・能力開発事業	
1	書道に関する技能能力の審査・認定	4 頁
2	書道教育研究誌の頒布	4 頁
3	次代を担う指導者の育成	6 頁
III	収益事業	
1	事務所床賃貸事業	9 頁
2	書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業	9 頁
IV	その他	
1	懇親会	9 頁
V	新事業の検討	9 頁

【I】 公益事業 1 書道に関する普及啓蒙活動事業

『1』 収蔵品の調査研究と貸出・公開

1 企画維持管理

- (1) 書壇院で受け入れた新規購入品及び寄贈品の整理・配架
- (2) 苞竹記念文庫の書庫・収蔵品の整理・管理
 - ① 閲覧図書管理（本の破れ等の修理は平成 29 年度以降とする。）
 - ② 新収蔵品の収蔵番号のデータ入力、現在も継続中である。
 - ③ 旧収蔵品データ入力終了後の不備・不明の調査・訂正は、現在も継続中である。
- (3) 展示用資料である収蔵品にバーコードと棚番号のシールを貼付し、終了後、その番号を収蔵品の目録のデータに入力した。
- (4) 同人作品の選別・整理は終了した。
- (5) 書壇院ギャラリー展示の企画
 - ① 第 101 回展（企画展示）「明治・大正の書画」—書壇院収蔵—
 - ② 第 102 回展（企画展示）「書壇院 平成の作家」
—財団法人書壇院理事監事以上—
 - ③ 第 103 回展（平常展示）「吉田苞竹展」

2 調査研究

- (1) 明治以前の日本の書の拓本の調査を継続した。
 - ① 釈文の採録を開始し、継続中である。
 - ② 粗読みを継続中である。
- (2) 鐘銘拓本の整理研究は保留状態。

3 展示事業

- (1) 企画展示は以下のとおり実施した。
 - ① 第 101 回展
「明治・大正の書画」—書壇院収蔵—
会期 平成 28 年 4 月 3 日（日）～6 月 5 日（日）
書壇院収蔵の明治・大正の書画 36 点を展示。資料として作者略歴を作成した。
（幅 28 点、対幅 1 点、卷子 1 点、摺扇 5 点、画帖題字 1 点）
 - ② 第 102 回展
「書壇院 平成の作家」—財団法人書壇院理事監事以上—
会期 平成 28 年 11 月 1 日（火）～平成 29 年 1 月 29 日（日）

財団法人（公益財団法人を含む）書壇院理事・監事に就任した役員
の作品 57 点を展示。展示作品の内 31 点は、新たに書壇院蔵品とし
て保存。

(2) 平常展示を実施した。

① 第 103 回展「吉田苞竹展」

会期 平成 29 年 2 月 1 日（水）～3 月 26 日（日）

『2』 講演会・ギャラリートーク

1 講演会

第 22 回文化講演会を能勢紫香かな振興基金の補助を受けて実施した。

演 題 「かなの成立と発展」

講 師 森岡 隆 先生

(筑波大学大学院教授)

日 時 平成 28 年 6 月 5 日（日）

会 場 国立近代美術館講堂

参加者 150 名

会 費 1,000 円（資料『かなの成り立ち事典』を含む）

2 ギャラリートーク

企画展示開催に付随して以下のとおり実施した。

・平成 28 年 5 月 13 日（金）

・平成 29 年 1 月 17 日（火）

『3』 展覧会

1 展覧会

(1) 第 55 回 書壇院竹心展

会 期 平成 28 年 4 月 5 日（火）～ 10 日（日）

会 場 東京銀座画廊・美術館（銀座貿易ビル 7F）

出品者 書壇院展審査会員 179 名

書壇院展院友（特別選抜者） 11 名

(2) 第 9 回 「書壇院 日本文の書」展

会 期 I 平成 28 年 6 月 15 日 (水) ～6 月 26 日 (日)
II 平成 28 年 6 月 29 日 (水) ～7 月 10 日 (日)
III 平成 28 年 7 月 13 日 (水) ～7 月 24 日 (日)
会 場 書壇院ギャラリー
出品者 書壇院展審査会員
I 期 40 名 II 期 40 名 III 期 40 名 計 120 名

(3) 第 9 回「書壇院展院友 日本文の書」展

会 期 I 平成 28 年 8 月 31 日 (水) ～9 月 11 日 (日)
II 平成 28 年 9 月 14 日 (水) ～9 月 25 日 (日)
III 平成 28 年 9 月 28 日 (水) ～10 月 10 日 (月・祝日)
会 場 書壇院ギャラリー
出品者 書壇院展院友
I 期 33 名 II 期 32 名 III 期 31 名 計 96 名

(4) 第 83 回 書壇院展

会 期 平成 28 年 12 月 6 日 (火)～11 日 (日)
会 場 東京都美術館 (東京・上野公園)
出品者 全国公募による出品者 643 名
審査会員 218 名
院友 199 名
計 1,060 名

(5) 第 83 回 書壇院学生展

会 期 平成 28 年 12 月 6 日 (火)～11 日 (日)
会 場 東京都美術館 (東京・上野公園)
出品者 全国公募による小学生 490 名
全国公募による中学生 129 名
全国公募による高校生 59 名
計 678 名

(6) 第 56 回 書壇院竹心展

会 期 平成 29 年 3 月 21 日 (火)～ 26 日 (日)
会 場 東京銀座画廊・美術館 (銀座貿易ビル 5F)
出品者 書壇院展審査会員 171 名
書壇院展院友 (特別選抜者) 8 名
計 179 名

【Ⅱ】 公益事業 2 書道に関する支援・能力開発事業

『1』 書道に関する技能能力の審査・認定

1 各昇位試験及び書道・南画教授認定試験を実施した。

(1) 『書壇』漢字・かな・南画昇位試験

実施 平成 28 年 6 月 7 日 (火) 受験者 25 人 各位合格者 24 人

(2) 『書壇』玄位・妙位・雪位試験

実施 平成 28 年 8 月 9 日 (火) 受験者 150 人 各位合格者 109 人

(3) 書道・南画教授認定試験

実施 平成 28 年 9 月 9 日 (金) 受験者 4 人 認定者 4 人

(4) 『書壇』上位・極位・雅位試験

実施 平成 29 年 3 月 7 日 (火) 受験者 223 人 各位合格者 91 人

『2』 書道教育研究誌の頒布

1 書道教育研究誌である月刊『書壇』及び月刊『学生書壇』の刊行について

(1) 書壇院は、公益財団法人としての理念を体し次の諸事項を行った。

○ 『書壇』・『学生書壇』の誌代を次のように継続した。

『書壇』 1 部 700 円 (送料・消費税込)

『学生書壇』 1 部 400 円 (送料・消費税込)

○ 『学生書壇』購読者の、漢字・かな・硬筆すべての部門の出品料を引き続き無料とした。

○ 『書壇』購読者の、漢字・かな・南画・日本文・篆刻のすべての部門の出品料を引き続き無料とした。

○ 『書壇』協力員、『学生書壇』協力員の設定

過去 1 年間 (4 月号～3 月号) に購読又は取扱った冊数がある一定以上に達した指導者 (あるいは取扱い責任者) を協力員として姓号 (氏名) を誌上に発表し、協力を讃えた。

(2) 『書壇』について

① 月例掲載記事は平成 27 年度に準じて行った。

② 表紙は書壇院蔵の「古硯」とし、裏表紙は、書壇院蔵の作品に解説を添えて載せた。

- ③ 「同人参考手本」
条幅・半紙共、読者の競書出品の参考となるようにした。
また、2尺×6尺・3尺×4尺の参考手本は、書壇院展・毎日書道展への取り組みを身近なものとし、制作意欲を刺激し、出品数の増加を図る目的で掲載した。(漢字・かな・日本文)
- ④ 「漢字規定」
上位・準上位の課題は引き続き唐詩を、玄位～六位及び新規は五言句の参考手本を掲載した。小字の課題は引き続き古典と近藤秋篁書の臨書を取り入れた。
- ⑤ 「かな規定」
極位・準極位は和歌又は俳句を、妙位～六位及び新規は参考手本を掲載した。
- ⑥ 「南画規定」
南画初学講座として参考手本と解説を載せた。
- ⑦ 「漢字臨書規定」
古典研究として読者の作品制作の糧となるような古典を選び、参考手本(条幅・半紙)と解説を載せた。
- ⑧ 「かな臨書規定」
極位～二位は古典の臨書とし、三位～六位はその中の一部分を参考手本により臨書した。
- ⑨ 「日本文の書」
参考手本(半紙規定・条幅規定)を掲載し、規定と随意を募集した。
- ⑩ 「篆刻入門」
参考手本を掲載し、規定と随意を募集した。
- ⑪ 随時掲載記事
「私の好きな古典」、「展覧会案内」、「展覧会報告」、「書壇院日記」その他。
- ⑫ 「審査会員遊苑」
『書壇』同人以外の審査会員を対象に毎月課題を設定し、作品制作をすることで書の技倆の向上に資するようにした。(漢字・かな・日本文)
- ⑬ 表具店、文房四宝店等の広告をなるべく多く掲載し、購読者への情報提供の拡大を図った。
- ⑭ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起した。

(3) 『学生書壇』について

- ① 月例掲載記事は平成 27 年度に準じて行った。
- ② 表紙は泗水昇鼎図より取りあげた。
- ③ 表紙裏に吉田苞竹の書作品を載せた。
- ④ 「鑑賞作品」は古典の一部を大きく掲載し、やさしい解説を添えた。
- ⑤ 掲載手本
「毛筆部」 幼児、小1、小2、小3、小4、小5、小6、
中1、中2、中3、高校 (11種)
「かな部」 かな中学、かな高校 (2種)
「硬筆部」 幼児、小1、小2、小3、小4、小5、小6、
中学・高校 (8種)
- ⑥ 「特待生紹介」、「教室だより」、「教室紹介」は従来通り掲載した。
- ⑦ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないように注意を喚起した。

2 『書壇』『学生書壇』年間発行部数について

両誌に今後も改善を加え、魅力ある教育研究誌となるよう一層努力した。

平成 28 年度の売上げは以下のとおりである。

『書壇』年間売上部数	33,933 部	前年計画比	1,585 部減
『学生書壇』年間売上部数	32,927 部	前年計画比	1,511 部減

『3』次代を担う指導者の育成

1 書道教室の継続実施

書道教室（漢字・かな・水墨画（南画））を月 2 回（原則として第 2 週・第 4 週）書壇院ホールにおいて継続実施した。

なお、一時休講していた水墨画（南画）教室を平成 28 年 10 月から再開した。

書道教室（漢字）	水曜日・金曜日
書道教室（かな）	火曜日・土曜日
水墨画（南画）教室	土曜日
書道教室（子ども）	木曜日・日曜日・金曜日

2 書道講習会の開催

書道講習会を年4回<日本文2回、篆刻・水墨画（南画）各1回>実施した。

(1) 日本文

実施日 第1回 平成28年7月2日（土）
第2回 平成28年7月3日（日）
講師 渡邊 溪山 先生（書壇院展日本文部審査会員）
会場 書壇院ホール
参加費 2,000円
参加者 第1回 21名
第2回 19名

(2) 水墨画（南画）

実施日 平成28年10月1日（土）
講師 岩崎 桂花 先生（書壇院展南画部審査会員）
会場 書壇院ホール
参加費 2,000円
参加者 15名

(3) 篆刻

実施日 平成29年2月18日（土）
講師 鈴木 青雨 先生（書壇院展漢字部審査会員）
会場 書壇院ホール
参加費 3,000円（印材代を含む）
参加者 15名

3 書初め会の継続実施

実施日 平成29年1月7日（土）
会場 書壇院ホール、書壇院前広場
内容 大作揮毫パフォーマンス
参加者による書初め体験
参加者 約80名

4 「若竹」活動の一層の活発化

(1) 若竹交流会

第1回

実施日 平成 28 年 8 月 14 日（日）
会 場 書壇院ホール
内 容 水墨画（南画）を学ぶ。講師 岩崎 桂花 先生

第 2 回

実施日 平成 28 年 12 月 10 日（土）
会 場 東京都美術館（第 83 回書壇院展会場）
内 容 書壇院展に出品した自分の作品の紹介と、指導者や参加者
による作品批評。指導者は、書壇院展幹部。
参加者 約 20 名

(2) 第 2 回若竹作品発表会

実施日 平成 28 年 8 月 2 日（火）～8 月 28 日（日）
会 場 書壇院ギャラリー
出品数 半紙サイズ以内の作品 125 点
発表会終了後は、全ての作品をインターネット展として
書壇院ホームページの若竹広場に掲載した。

5 他団体の育成事業への指導協力・支援

- (1) 鶴岡市立朝暘第二小学校（吉田苞竹の母校）の書初め会への支援を行った。
- (2) 東京都美術館主催 「TOKYO 書 2017 公募団体の今」展に 2 名を選抜し、出品協力をした。
- (3) 毎日書道展への出品に協力した。
- (4) 高野山競書大会への出品に協力した。
- (5) 国際高校生選抜書展への出品に協力した。

【Ⅲ】 収益事業

『1』 事務所床賃貸事業

賃貸人公益財団法人書壇院と賃借人森ビル株式会社が契約締結した「建物賃貸借契約書」に基づき、本院が所有する事務所（港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワー27階部分）床面積2,063.88㎡を賃貸した。

『2』 書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業

公益財団法人書壇院「書壇院ギャラリー」「書壇院ホール」借用規程に基づき、賃貸事業を実施した。

- ・ 書壇院ホールB（午後）11回

【Ⅳ】 その他

『1』 懇親会

展覧会・講演会実施に付随して懇親会等を開催した。

1 「第55回竹心展」懇親会	参加者	107名
2 「第22回文化講演会」懇親会	参加者	30名
3 「第83回書壇院展」親睦会	参加者	85名
4 「第56回竹心展」懇親会	参加者	108名

【Ⅴ】 新事業の検討

管理業務として、公益財団法人書壇院の活性化を目指して検討会を実施した。

平成28年7月8日に内閣府公益認定等委員会の立ち入り検査を受け、その際の口頭による指摘事項の内容に沿って規程等を整備し、運営改善を図ることにより、基本的な体制を整えることができた。

一応、所期の目的を果たしたため平成28年11月末日をもって検討を終了した。

事業報告の附属明細書

- 1 重要な事項は全て事業報告に記載した。
-